

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 時代に即した持続可能な消防団への改革（デジタル化の推進）

自治体名 松本市

消防団名 松本市消防団

1 事業の目的・必要性

消防団員の処遇改善に伴い、従来一定額であった、出勤報酬（費用弁償）が、出勤・活動時間による差別化及び団員個人への直接支給になったことにより、出勤等に関する集計・報告が煩雑化したため、正確さや集計事務報告の負担軽減を図る必要があるためアプリの導入をするもの。

2 事業内容

○消防団出勤報告アプリの導入

次の機能を有したアプリを導入し、幹部団員の負担軽減や出勤報告の正確性を向上させるもの。

- ・火災発生時、消防局の指令台と連動してプッシュ通知を行う。通知に対し出勤可否を回答するとGPSの位置情報により、出勤した団員を把握することが可能。また、その情報を基に出勤報告の作成が可能。
- ・日常的活動についても集計や報告等が可能。
- ・団員が自分の活動記録を見ることが可能。

3 事業成果

○アプリ導入後の出勤報告について

出勤報告は、活動時に出席している幹部団員が、その活動の報告をアプリにより作成し、作成された報告を上位階級の3名（分団長1名、副分団長2名）の誰かが承認することで、報告完了となる。そのため、庶務担当者が分団内の全員の活動を取りまとめる必要がなくなった。

また、報告作成時に出勤時間や出勤区分を入力することで、アプリが自動で報酬額を区別するため、庶務担当者が計算をすることがなくなった。

以上のことから、目的であった幹部団員の負担軽減を図ることができた。

他にも、アプリ導入により以下のような成果が得られた。

- ・出勤報告の内容を分団の全団員が閲覧できるため、報告の透明性や正確性が向上した。
- ・GPS機能により、現場で確実に活動したという証明ができるようになった。
- ・市から消防団へお知らせ等の連絡事項がある際、階級別に送信できるなど、今までにない連絡手段必要な情報を明確に対象者に送信できるようになった。
- ・これまで紙ベースで提出を求めていた車両の点検報告をアプリで出来るようになり、用紙の削減を図ることができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	1回	2回	消防団への説明は説明会だけでなく、アプリを通して資料の配布等も行った。アンケートについては、アプリの不具合があり、機能をフルで使えるようになってからの調査としたため、1回減とした。
アンケート	回数	2回	1回	
業者と打合せ	回数	3回	10回	

5 その他参考情報

